

# 宮城県感染症発生動向調査情報

平成29年6月29日発行

— 2017.6.19～2017.6.25—第25週—

## 1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所								患者数	患者数	累計	宮 城 県 (含 む 仙 台 市)			
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数				患者数	第22週	第23週	第24週
水痘		8 0.80	1 0.20		4 1.33		2 1.00	12 0.44	27 0.46	609		○	○		
流行性耳下腺炎	1 0.20	3 0.30	1 0.20		1 0.33			12 0.44	18 0.31	284					
百日咳									0 0.00	0					
感染性胃腸炎	152 30.40	45 4.50	8 1.60	16 8.00	10 3.33	29 5.80	3 1.50	320 11.85	583 9.88	7,541	◎	◎	◎	◎	
手足口病	2 0.4	3 0.3	10 2.00	1 0.50		1 0.20		19 0.70	36 0.61	151		○	レ	○	
伝染性紅斑	6 1.2							3 0.11	9 0.15	86					
突発性発しん	7 1.40	4 0.40	8 1.60	1 0.50	2 0.67	3 0.60	1 0.50	13 0.48	39 0.66	802	○	○	レ	○	
ヘルパンギーナ			4 0.80		1 0.33	2 0.40		4 0.15	11 0.19	41					
インフルエンザ	1 0.13	1 0.07				3 0.38		11 0.25	16 0.17	27,036	◎	○	○	レ	
咽頭結膜熱		24 2.40	1 0.20	8 4.00	1 0.33	4 0.80		74 2.74	112 1.90	865	◎	◎	◎	◎	
流行性角結膜炎		2 0.67	2 2.00						4 0.33	60					
急性出血性結膜炎									0 0.00	0					
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	15 3.00	66 6.60	1 0.20	3 1.50	8 2.67	34 6.80		64 2.37	191 3.24	4,284	◎	◎	◎	◎	
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)									0 0.00	0					
無菌性髄膜炎									0 0.00	1					
マイコプラズマ肺炎					1 1.00		1 1.00	1 0.20	3 0.25	127					
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	0					
RSウイルス感染症	8 1.60	4 0.40	3 0.60					16 0.59	31 0.53	307				○	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)									0 0.00	50					
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	9	5	5	1	2		2							
	川崎病							1							
	不明発疹症		3					1							

◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意  
○: 発生または流行について、今後の情報に留意  
レ: 発生が少なくなっている傾向

※今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 0例

## 2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核  
仙台管内 男性14名、男児1名※、女性5名、女児1名※

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O26)  
大崎管内 女性1名

4類感染症: つつが虫病  
仙南管内 男性1名

5類感染症: 後天性免疫不全症候群  
仙台管内 男性1名  
侵襲性肺炎球菌感染症  
大崎管内 男性1名  
仙台管内 男性1名、女性1名  
梅毒  
仙台管内 女性1名  
※男児、女児は6歳未満

## 【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

感染性胃腸炎患者より  
塩釜管内 第22週採取分 A群ロタウイルスG9型 1件  
下痢原性大腸菌 1件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確 定	中 間 報 告	
	第22週採取分 (5.29～6.4)	第23週採取分 (6.5～6.11)	第24週採取分 (6.12～6.18)
RSウイルス	1件	0件	1件
アデノウイルス	2件	1件	5件
サイトメガロウイルス	1件	0件	0件
パラインフルエンザウイルス(3型)	7件	4件	8件

## 4. 今週のコメント

### 【つつが虫病】

県内で今シーズン初めての報告がありました。つつが虫病は、ツツガムシ(ダニの一種)が保有するつつが虫病リケッチアが原因となり、38℃以上の高熱、発疹などの症状を引き起こす感染症です。全国的に春～初夏及び秋～初冬に患者の報告数が増加します。ツツガムシは、草地に多く生息していることから、草刈りや山菜採り、レジャー等の際は、刺されないよう肌の露出を少なくするなどの対策を取ることが重要です。ツツガムシ病には死亡例も見られますので、さし口があり、症状が現れた際には、すみやかに医療機関を受診してください。

## 3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

### 【定点把握対象疾患】

[感染性胃腸炎]  
仙南管内で警報継続中  
[咽頭結膜熱]  
栗原管内で警報値を超えた  
[A群溶血性レンサ球菌咽頭炎]  
石巻管内で警報継続中

### 【結核】

今週、仙台管内で21例の報告がありました。結核は、結核菌による感染症で、初期症状は長く続く咳や発熱等ですが、症状が進行すると、咳などの飛沫中に結核菌が排出されるようになります。早期の発見と治療が重要ですので、定期的な健康診断を受けるとともに、2週間以上咳や痰、微熱等が続く場合は早めに医療機関を受診しましょう。

宮城県定点週報告対象疾病の推移

